

くろべっ子つうしん19話

「ぼくがもってあげるよ」

いやか! おかあさんも一緒にあって!!

ここでバイバイしようね。あとで、ちゃんと返えにくるからね。

登所時、4歳児のOちゃんが不安な気持ちをおかあさんに訴えていました。

その様子を見ていたPくんがOちゃんに言葉をかけました。

Pくん。ありがとう。

Oちゃん。ぼくが荷物を持ってあげるよ。一緒に行こう。

Pくんのひと言でOちゃんの表情が明るくなりました。

…うん。

朝のきっかけから、いつもの元気を取り戻したOちゃん。次の日の朝、Pくんの登所を玄関で待っているOちゃんのおかあさんがありました。

うん。ありがとう。

Pくん。今日は、わたしが荷物を持ってあげるね。

ここ新幹線の駅にしようよ。

Pくんの温かい気持ちがOちゃんの心に届いたようです。この日から、PくんとOちゃんがおかあさんと一緒にあそぶ姿が、よく見られるようになりました。

うん。かっこいい。

うん。

お店も作らんなん。

友だちの良さに気づいたりお互いを思いやる気持ちを大切にしながら、あそびや生活を楽しむことができるよう、援助していきたいと思っています。

OちゃんとPくんのおかあさん同士の交流も深まり人と人のかかわりの温かさかじんわりと伝わってきました。

くろべっ子つうしん20話

「ぼくもあるけるよ」

1歳のQちゃんが初めて歩いたとき

よちよち

家族みんなが、大喜びしました。

Qちゃん。すごいね。歩けたね。

Qちゃん。上手やったよ。

その時Qちゃんの兄のRくん(5歳)が、ホッソソとつぶやきました。

…ぼくも歩けるよ。

いとおしさがこみ上げてくるRくんの言葉でした。

子育てサロン交流の中で、QちゃんとRくんのお話をし下ったおかあさんの言葉から、わか子、2人を楽しめる思いやる気持ちが、ひしひしと伝わってきました。

そう。そう。

なんかわかる。甘えたいよね。

参加されたおかあさん方からも井威の音が聞かれました。

うちもそうやったよ。

かわいいね。

「子育てサロン」では、未入所児のお子様やその保護者の方々が園の子ともたちや他の親子との触れ合いを楽しんだり身近な子育て相談ができるよう、各園で、それぞれ交流の場を提供しています。ぜひ、ご利用ください。

また、保育所、幼稚園では、子どもたちの丁寧な思いを受けとめ、ていねいにかかわりながら、信頼関係を築いていきたいと思っています。